ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

エンジン刈払機

RK231－SP

Softスタート

⚠ 注 意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目　　次

	頁
1．安全にご使用いただくために	2
1－1．ご使用前に	2
1－2．キックバック	5
1－3．給油	6
1－4．始動	7
1－5．作業	8
1－6．停止	9
1－7．点検・整備	9
1－8．移動・保管	10
2．各部名称	11
3．組立の手段	13
3－1．外観と付属品のチェック	13
3－2．フレキシブルケーブル取り付け準備	13
3－3．フレキシブルケーブルとアウターパイプの取り付け	14
3－4．フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け	14
3－5．スロットルケーブルの取り付け	15
3－6．スロットルケーブルの遊び調整	16
3－7．フロントハンドルの取り付け	16
3－8．安全ガードの取り付け	17
3－9．刈刃の取り付け	18
4．エンジンの始動と停止	20
4－1．燃料の給油	20
4－2．エンジンの始動	20
4－3．始動困難なとき	23
4－4．停止	24
5．刈払い作業	25
5－1．背負いバンドの掛け方	25
5－2．ストラップの使用方法	26
5－3．操作の方法	26
6．点検．準備	28
6－1　エアクリーナーの掃除	28
6－2　キャブレターの調整	29
6－3　スパークプラグの点検	30
6－4　シリンダーフィンの掃除	31
6－5　燃料フィルターの掃除	31
6－6　ギヤケースのグリース補給	32
6－7　フレキシブルシャフトのグリース補給	32
6－8　刈刃の目立て	33
7．長期保管	34
8．故障の診断と処理	35
9．主な消耗品	38
10．仕様	39

新ダイワ工業株式会社

新ダイワ刈払機をご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたら、お求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

刈払機は高速で回転する刃物で草刈りをする機械です。ケガや火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

1．安全にご使用いただくために

警告ラベルの説明



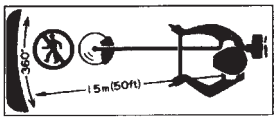
この取扱説明書をよくお読みください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽、長ズボン、スリップ防止底の安全靴、滑り止めのついた防振性のある手袋を着用してください。



この機械を運転中は15m以内に他の人を近づけないでください。



飛散物に注意してください。

1－1　ご使用前に

⚠危 険

- ■ 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）に刈払機を使用させないでください。
- ■ この機械を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- ■ はじめて刈払機を使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。

■ この刈払機は腰以下の位置で草刈りに使用するものであり、目的外に使用しないでください。

■ 作業をする場所に適した刈刃を使用してください。

●のこ刃＝細い木など（太い木は切らないでください。）

●笹刈刃＝笹・草全般（木は切らないでください。）

●VR８枚刃＝草（木は絶対切らないでください。）

●チップソー＝草・木など（刃の形で切るものが異なりますので、その刃の用途をよく確認ください。）

●ナイロンコードカッター＝草

異なった用途への使用は、刈刃の破損やけがのもとになりますので、刈刃の用途をよく確認してご使用ください。

■ 作業中は石、金属やプラスチックなどに刈刃を当てないでください。刈刃が破損、飛散し、危険です。

■ 刈刃が石などの硬いものに当たったときは、ただちにエンジンを停止し、刈刃が停止した後に、刈刃に異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しい刈刃に交換してください。

■ 曲がり、変形、亀裂、破損の生じた刈刃は廃却し、使用しないでください。

■ 安全ガードが取扱説明書にしたがって、しっかりと取り付けてあることを確認してください。

■ 安全ガードなどの安全装置は絶対に取り外さないでください。

■ 作業する場合、刈払機の15m以内に他の人、子供、動物がいないことを確認してください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、刈刃を止めてください。

■ エンジン始動時および運転時は絶対に刈刃に手や足を近づけないでください。

■ 屋内などの換気の悪い場所では、決して刈払機を運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。

■ 排気ガスを直接吸わないでください。人体に有害です。

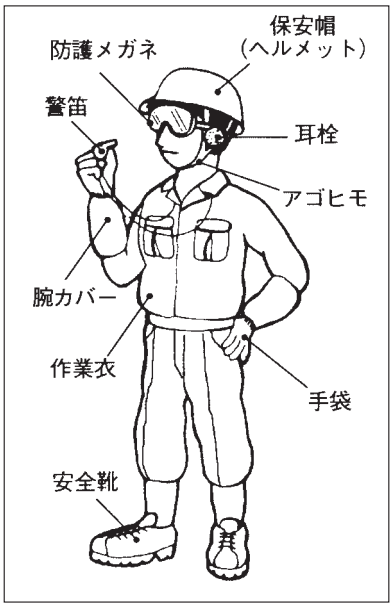
⚠警 告

- 作業前に刈払機の点検（28ページを参照）を行ってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。
- 決して刈払機を勝手に改造しないでください。
- 新ダイワ工業が指定した刈刃以外は使用しないでください。
- 正しく目立てされた刈刃を使用してください。
- 刈刃を装着する際は必要な部品をすべて組み込んでください。必要な部品を組み込まない場合には刈刃が抜け落ち、運転者や付近の人に飛んで大ケガになる危険性があります。
- 混合ガソリンを使用しますので、刈払機のそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。
- 作業前に燃料漏れがないか確認を行ってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。
- マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。
- 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業を行わないでください。また作業中に体調が悪くなった場合にはすぐエンジンを止め、作業を中止してください。



- 規格に合った保安帽を正しく着用してください。落下物や飛散物によりケガをするおそれがあります。
- 必ず保護メガネをつけてください。
- 必ず耳栓をつけてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。
- 刈払機を取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。
- 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダル

などを着用しないでください。頭髪は肩から下に垂れないように覆ってください。枝や機械の可動部にからまる危険性があります。



- ■ 靴は底に滑り止めのついた安全靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。
- ■ 作業前に作業場所をきれいにしてください。石、ビン、カン、ワイヤーなどが飛散して大ケガをするおそれがあります。
- ■ 夜間および天候の悪いときは使用しないでください。
- ■ 風、雨、大雪、濃霧などの悪天候のとき、または落石やなだれのおそれのある場所では、使用しないでください。
- ■ 作業は早朝や夕方には行わず、視界のよい日中に行ってください。
- ■ 刈払機の操作時間は１日２時間以内にとどめ、30～40分運転したら10～20分休憩してください。振動障害をおこすおそれがあります。

⚠注 意

- ■ 刈刃を装着する際は必ず手袋をしてください。刈刃は鋭い刃がついています。素手でさわるとケガをします。

１－２　キックバック（はね返り）

⚠危 険

- ■ キックバックは刈刃が硬い物に接触した場合におこる可能性があります。刃物が硬い物に当たった反動により、本体および運転者が

激しく押し返されます。この反動をキックバックと言います。結果として運転者は刈払機をコントロールできなくなり、重大な事故につながる場合があります。切断状態が良く見えない時は注意が必要です。

■ 刈刃は目立てしたよく切れる刈刃を使用してください。キックバックの発生が少なくなります。



1－3　給油

⚠警 告

■ ガソリンと２サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップをはずすと燃料が吹き出すことがあります。

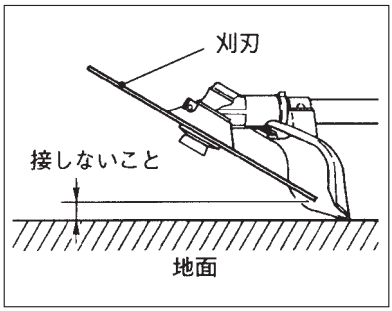
■ こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。

■ 燃料は引火しやすいので、混合や給油中にタバコを吸ったり火花を出したりしないでください。

⚠注 意

■ 異物やゴミを燃料タンク内に入れないために、燃料を補給する前にキャップのまわりをよく清掃してください。

1－4　始動



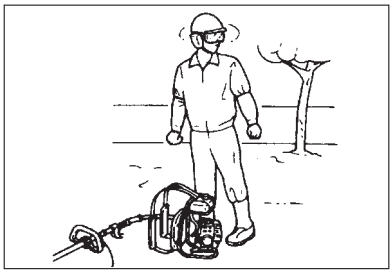
⚠危険

■ エンジンを始動する場合、刈刃が地面や他の物体に接していないことを確認してください。エンジンを始動するとすぐに刈刃が回転します。

■ 屋内や通気の悪い所でエンジンを始動しないでください。エンジンの排気ガスには、死に到る有毒なガスが含まれています。

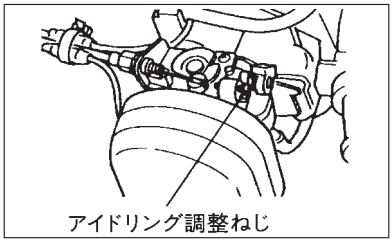
⚠警告

■ エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い場所で行ってください。



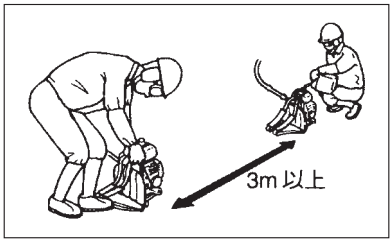
■ 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）で行ってください。

■ エンジンがアイドリング時、刈刃が回転しないことを確認してください。アイドリング時、刈刃が回転すると危険です。回転する場合はアイドリング調整ねじでアイドリング調整をして回転数を下げてください。



■ 燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所から３m以上離れた場所で行ってください。

■ ストップスイッチを押してエンジンが停止することを確認してください。

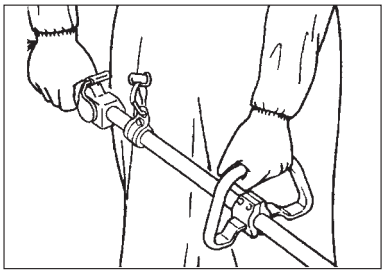


1－5　作業

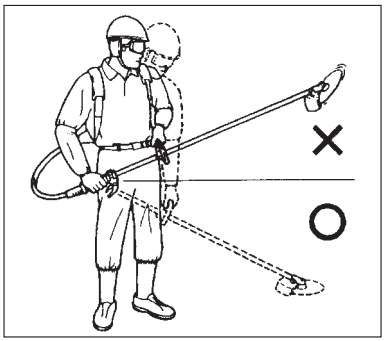
⚠危険

■ 燃料もれがないか確認し、万一漏れていたら必ず修理し漏れてないことを再確認してください。燃料タンク、配管、キャブレタなどから漏れていないか常に注意して下さい。

⚠警告



■ 刈払機を操作するときはフロントハンドルとリヤグリップを両手でしっかり握ってください。その他の部分は持たないでください。また、片手での操作は絶対にしないでください。



■ 必ず背負いバンドを使用してください。

■ 刈刃を腰の高さ以上に上げないでください。

■ しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。

■ 刈払機を使用している人に近づくときはお互いに合図を行い、エンジンを停止し、停止を確認した後に前から近づいてください。

■ 刈刃にものがはさまったり、からまった場合はエンジンのスイッチを切り、刈刃が停止した後に、取り除いてください。

■ 刈払機を落としたり、作業中に木にぶつけたり、何か異物に当てたときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。

■ 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。

■ 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないでください。
■ 刈刃を石などに当てた場合は、必ずエンジンを停止して刈刃に異常がないか確認してください。
■ エンジンを運転していないときは、刈刃が回転していなくても刈刃に手を触れないでください。

⚠注 意

■ 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダーなど）に触れないでください。ヤケドをします。
■ 運転中は高電圧部（プラグキャップ、プラグコードなど）に触れないでください。感電するおそれがあります。

1－6　停止

⚠警 告

■ エンジン停止後、あるいはスロットルレバーを戻した後も、刈刃はしばらく回転し危険です。スイッチを切った時には、刈刃が停止するのを待って、停止を確認した後に刈払機を地面に置いてください。

1－7　点検・整備

⚠危 険

■ 点検･整備（刈刃交換、掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、刈刃が停止していることを確認してから行ってください。
■ リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだし、ケガをするおそれがあります。

⚠警 告

- ■ ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検･整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。
- ■ 燃料キャップや燃料タンクおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。
- ■ 整備と修理を行うときは新ダイワ純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。
- ■ 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。そのような整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

⚠注 意

- ■ 点検･整備はエンジンが冷えてから行ってください。ヤケドのおそれがあります。

1－8　移動･保管

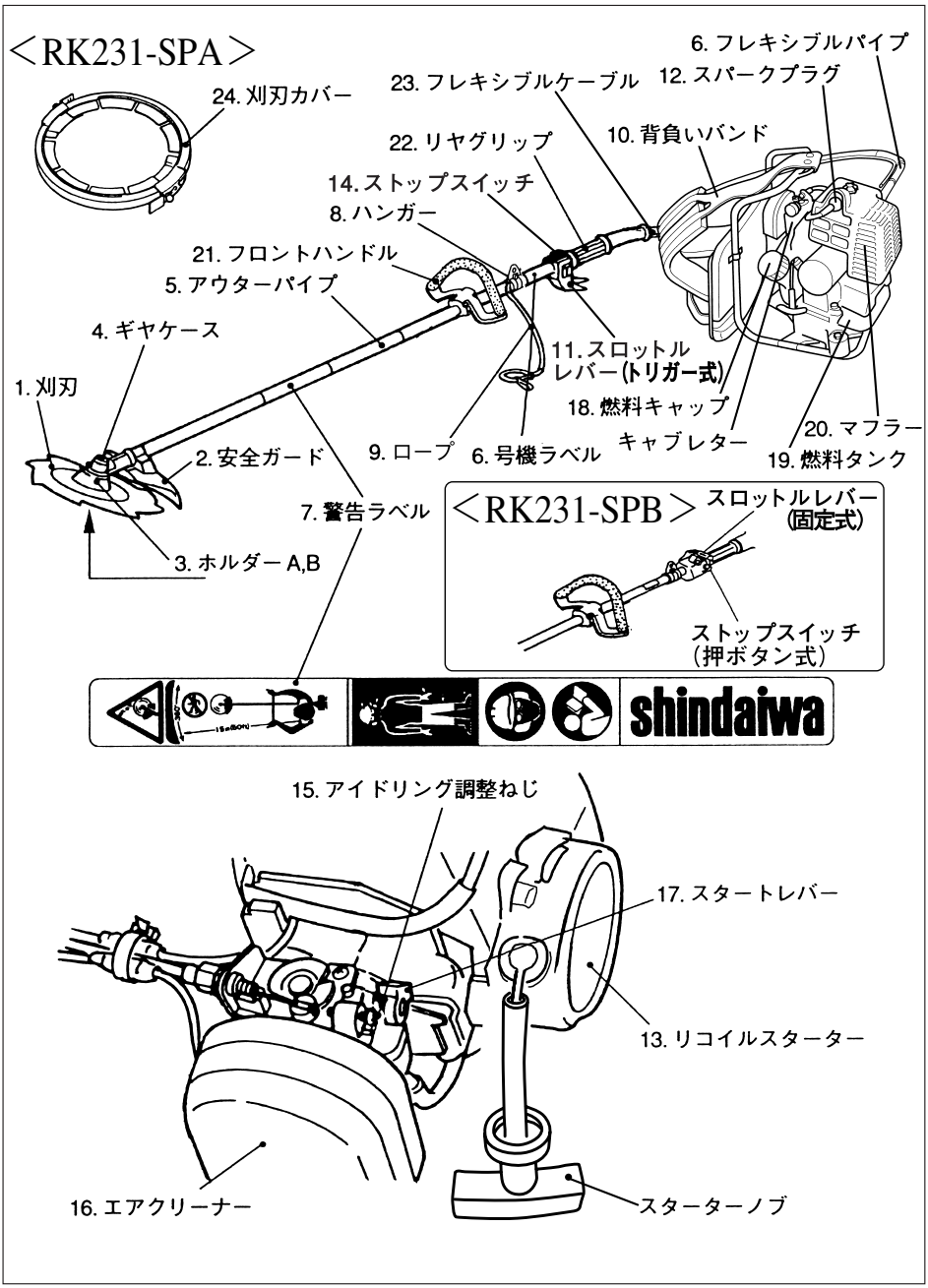
⚠警 告

- ■ 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。
- ■ 移動時あるいは保管時には刈刃に刈刃カバーをしてください。

⚠注 意

- ■ 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、刈払機を転倒しないように安定した場所に置いてください。
- ■ 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。
- ■ ２～３日以上保管する場合は燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を空にしてください。

2．各部名称


＜RK231-SPA＞
24. 刈刃カバー
23. フレキシブルケーブル
6. フレキシブルパイプ
12. スパークプラグ
22. リヤグリップ
10. 背負いバンド
14. ストップスイッチ
8. ハンガー
21. フロントハンドル
5. アウターパイプ
4. ギヤケース
11. スロットルレバー(トリガー式)
1. 刈刃
18. 燃料キャップ
キャブレター
20. マフラー
19. 燃料タンク
2. 安全ガード
9. ロープ
6. 号機ラベル
7. 警告ラベル
3. ホルダー A,B
＜RK231-SPB＞
スロットルレバー(固定式)
ストップスイッチ(押ボタン式)
shindaiwa
15. アイドリング調整ねじ
17. スタートレバー
13. リコイルスターター
16. エアクリーナー
スターターノブ

No.	名　　称	機　　能
1	刈刃	刃の付いた金属製円板です。雑草を切断します。
2	安全ガード	飛散物から運転者を守ります。
3	ホルダーA，B	刈刃を固定します。
4	ギヤケース	エンジン回転を減速するギヤが格納されています。
5	アウターパイプ	エンジンの回転力を刈刃に伝える伝動軸が中を通っており、刈刃を操作するためのさおとなります。
6	号機ラベル	製品の形式名および号機番号を示します。
7	警告ラベル	警告指示事項を示します。
8	ハンガー	ストラップを刈払機本体にひっかけるための金具です。
9	ロープ	刈払機のアウターパイプ部をバランスの良い位置に保持するための部品です。
10	背負いバンド	刈払機を背負うバンドで長さを調整して使用します。
11	スロットルレバー	エンジンの回転速度を調整するために使用します。
12	スパークプラグ	混合気に火花で点火するための部品です。
13	リコイルスターター	スターターノブを引いてエンジンを始動します。
14	ストップスイッチ	スイッチを押すとエンジンが停止します。
15	アイドリング調整ねじ	アイドリングの回転速度を調整します。
16	エアクリーナー	エンジンに吸引する空気のゴミを取り除くフィルターです。
17	スタートレバー	冷えているエンジンの始動時に燃料と空気の混合割合を調整し、始動性をよくします。
18	燃料キャップ	燃料タンクのふたです。
19	燃料タンク	燃料を入れる容器です。
20	マフラー	排気音を減少させます。
21	フロントハンドル	刈払い作業時に握るハンドルです。
22	リヤグリップ	刈払い作業時に握るグリップです。
23	フレキシブルケーブル	フレキシブルシャフトが入っている部分で自由に曲げることができます。
24	刈刃カバー	機械の持ち運びをするときに使用する刈刃のカバーです。

3．組立の手順

⚠注 意

■ ボルトは必ず付属の六角レンチを使用し、手で締め付けてください。

3－1　外観と付属部品のチェック

この製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のためにこの製品の損傷やボルト、ナット類のゆるみなどがないか点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。

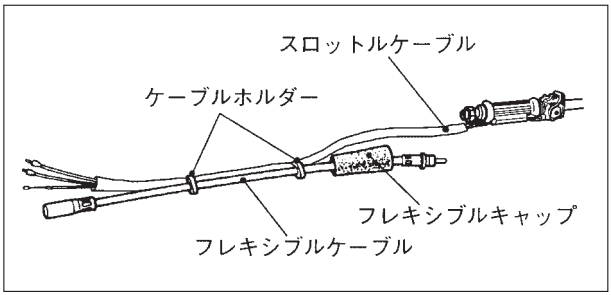
もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

付属部品

フロントハンドル、クランプ(樹脂)
安全ガード、クランプ(鉄板)
ロープ、刈刃カバー(2個)、ゴーグル
刈刃用ポリバッグ、プラグレンチ、六角レンチ
ボルト(M5×20、2本)、スクリュ(M5×30、4本)、ナット(4個)
クランプ、バンド
取扱説明書、保証書

3－2　フレキシブルケーブル取り付け準備

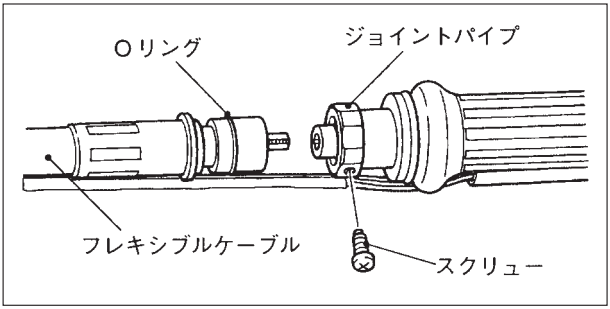
①スロットルケーブルに付いているケーブルホルダにフレキシブルケーブルを通します。



②付属のフレキシブルキャップをフレキシブルケーブルに図のようにはめます。

3－3　フレキシブルケーブルとアウターパイプの取り付け

①ジョイントパイプのスクリューを外し、フレキシブルケーブルのOリング側を差し込んでください。

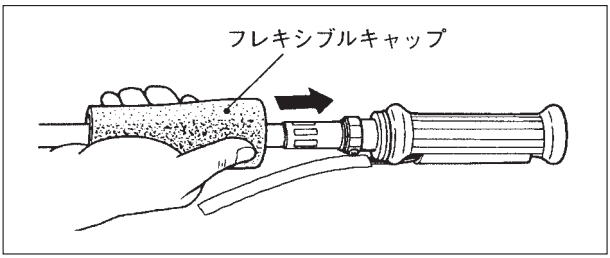


⚠注 意

■　フレキシブルケーブルの差し込み方向を間違えないように気をつけてください。

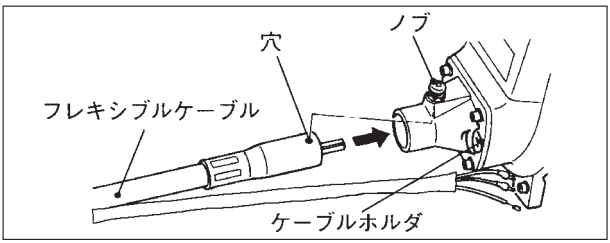
②ジョイントパイプのスクリュー穴とフレキシブルケーブルの円周溝を確実に合わせスクリューを締め付け、フレキシブルケーブルが抜けないようにしてください。

③ジョイントパイプとリヤグリップの間の溝までフレキシブルキャップをかぶせてください。



3－4　フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け

①エンジンにフレキシブルケーブルの穴側を差し込んでください。



⚠注 意

■ 差込時にはエンジン、アウターパイプ、フレキシブルケーブルがまっすぐになるように置き、フレキシブルケーブルを少し回しながら差し込むと楽に入ります。

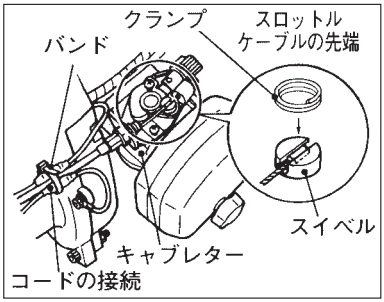
②奥まで差し込んだら、フレキシブルケーブルを回しノブを穴に入れてロックしてください。

⚠注 意

■ フレキシブルケーブルを引張りエンジン側のノブとジョイントパイプのスクリューがフレキシブルケーブルの溝に入って抜けないことを確認してください。

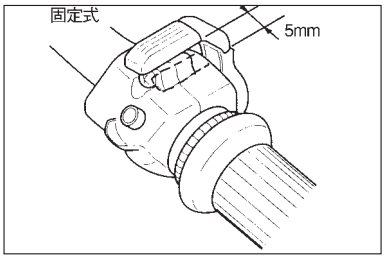
③スロットルケーブルをケーブルホルダに通してください。

3－5　スロットルケーブルの取り付け



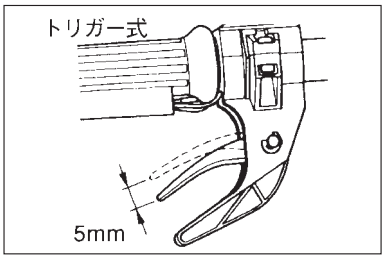
①スロットルケーブルをキャブレターのスイベルに取付けてください。
②ツールバッグの中のクランプをスイベルにはめてください。
③スロットルケーブル側のコードとエンジン側のコードを接続してください。
④ツールバッグの中のバンドで端子部を固定してください。

3－6　スロットルケーブルの遊び調整



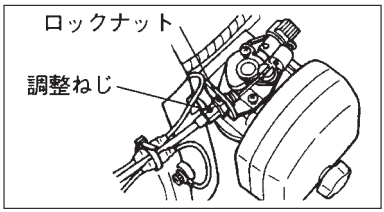
①スロットルレバーを軽く動かし、スロットルレバー先端の遊びが5mm程度あるかどうか確認してください。

②遊びの距離が長い場合または短い場合はキャブレター部のロックナットをゆるめ、調整ねじを移動させながら遊びの距離を調整してください。



調整ねじを
- 右に回すと→遊びが長くなる。
- 左に回すと→遊びが短くなる。

③遊びの距離が5 mm程度に調整できたら、ロックナットで調整ねじを固定してください。



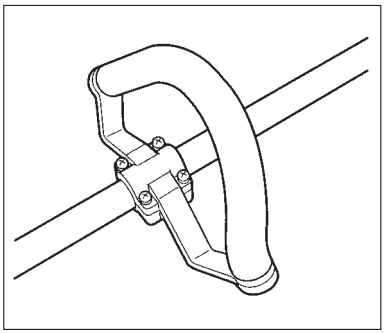
3－7　フロントハンドルの取り付け

⚠警 告

■ フロントハンドルは必ず取り付けて使用してください。フロントハンドルを取り付けずに使用すると重大な事故の原因となります。

フロントハンドルはエンジンの梱包箱に入っていますので下記の要領で取り付けて下さい。

①ツールバッグの中のスクリュー(4本)･ナット(4コ)でフロントハンドルをアウターパイプに固定して下さい。
②ギヤケース（刈刃)に対し水平、および操作しやすい位置に調整した後、スクリューを確実に締め付けてください。

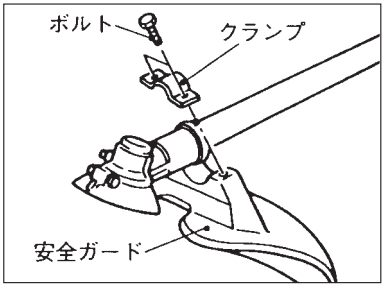


3－8　安全ガードの取り付け

⚠警 告

■ 安全ガードは必ず取り付けて使用してください。安全ガードを取り外したり、正しい位置に取り付けないで作業すると飛散物により、重大な事故につながる危険性があります。

①安全ガードをアウターパイプの下から、クランプをアウターパイプの上から合わせてください。
②ナットは安全ガードに組み付けてありますので、ボルトをクランプ側から締め付けてください。



⚠注 意

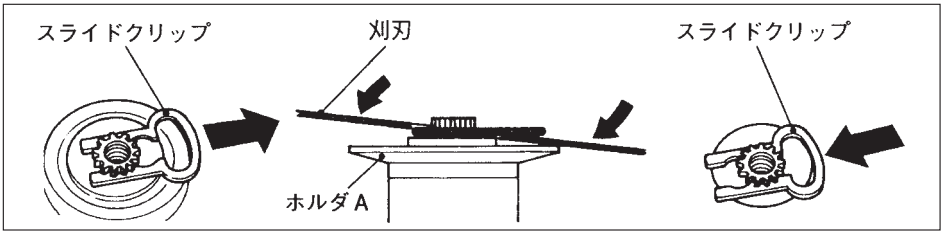
■ 安全ガードに「がた」がないか確認をしてください。

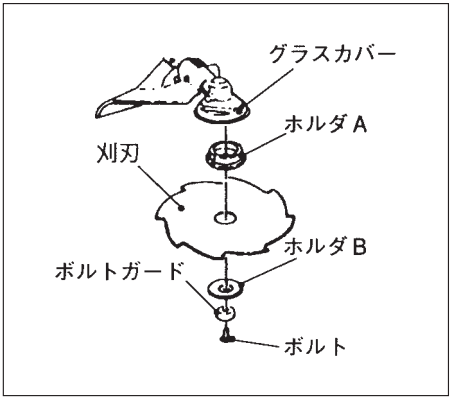
3－9　刈刃の取り付け

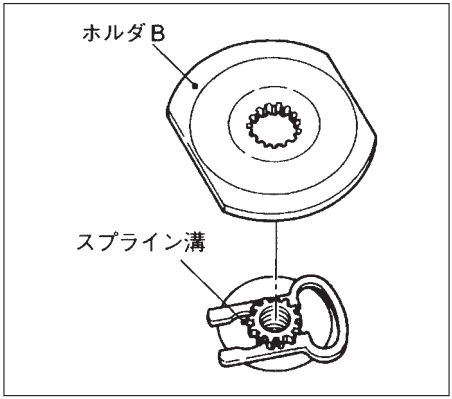
⚠警 告

- ■ エンジンが停止していることを確認してください。
- ■ 刈刃の回転方向と、刈刃の矢印の方向を合わせて取り付けてください。

①刈刃の回転方向はギヤケース側から刈刃を見て反時計回りです。
②刈刃固定用ボルト（左ねじ）を付属のプラグレンチで時計方向へ回し、ボルト、ボルトガード、ホルダBを取り外してください。
③スライドクリップを横にずらし（軸から外さない。）、刈刃を少し斜めにして、スライドクリップとホルダAの間に差し入れてください。
④スライドクリップを元に戻してください。

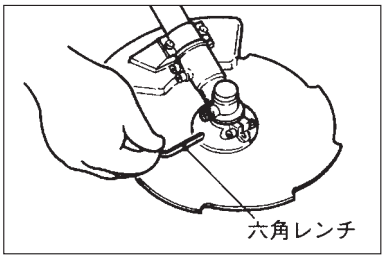


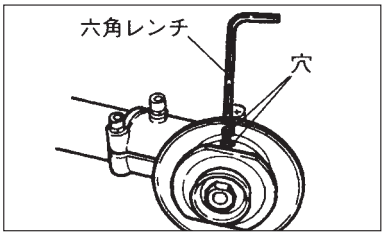




⑤ホルダBをギヤシャフトのスプライン溝に合わせながら、刈刃に確実に密着するように取り付けてボルトガード、刈刃固定用のボルトを手で締めてください。

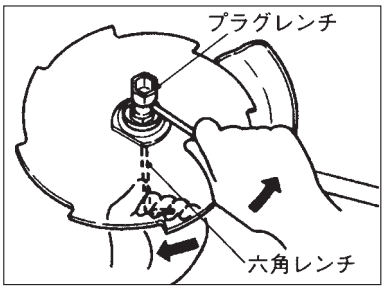
⑥ホルダA、Bを手でゆっくりまわし、グラスカバーの穴、ホルダAの穴、そしてギヤケースの穴を合わせて、六角レンチ（M５用）をさし込み、ホルダAが回らないことを確認してください。ホルダAが回る場合はギヤケースの穴に六角レンチが入っていないためで、ホルダAを回しながら穴位置を合わせてください。





⑦六角レンチを左手でしっかりと押さえながら、刈刃固定用ボルトをプラグレンチで反時計方向に回し、確実に刈刃を締め付けてください。

⑧刈刃の取り付け後、必ず刈刃が確実に取り付いていることを確認してください。



⚠危険

■ 取り付けが傾いていたり、締め付けが不十分な場合、運転中に刈刃が外れて飛散し、重大な事故の原因となります。

⑨軽く手で刈刃を回し、異常な振動または刈刃のブレがないか確認してください。

4．エンジンの始動と停止

4－1　燃料の給油

⚠警 告

- ■ 給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。
- ■ 平らな場所で給油してください。
- ■ こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。

⑴燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン25に対して２サイクル専用オイル１の割合で混合した混合燃料を使用してください。燃料の混合は安全容器にオイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。

無鉛ガソリン（ℓ）	2サイクル専用オイル(cc)
1	40
4	160
8	320

⑵給油

⚠注 意

- ■ 異物やゴミをタンク内に入れないために、燃料を補給する前にキャップのまわりをよく掃除してください。
- ■ 燃料は常に新しい物を使用してください。２～３カ月以上保存したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。

①給油する前に燃料をよく混合してください。

②燃料タンクの燃料キャップをゆっくりと外し、燃料を給油してください。

③給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

4－2　エンジンの始動

Softスタートは軽く引けるスターターです。リコイルスターターを軽く引いてもスプリングの作用で、エンジンを簡単に始動することができます。

⚠危 険

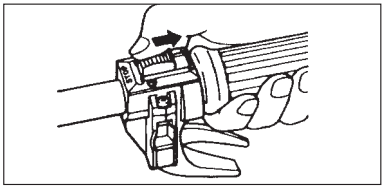
■ エンジンを始動する時、刈刃が地面や他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。始動後すぐに刈刃が回転し危険です。

⚠注 意

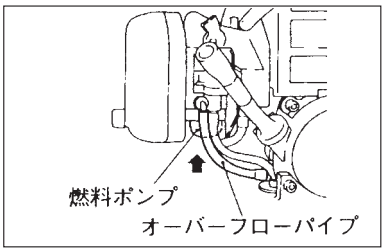
■ 始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。リコイルスターターを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。

1.エンジンが冷えているとき、または燃料切れで燃料を補給したとき

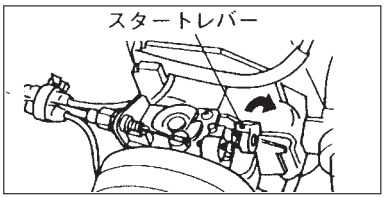
①RK231-SPA（トリガーレバー）の場合はストップスイッチがONになっていることを確認してください。
RK231-SPB（固定レバー）の場合は押しボタンスイッチに付き確認は不要です。



②キャブレターの下に付いている燃料ポンプ（透明の半円形）を数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れはじめ、泡が少なくなったらやめてください。

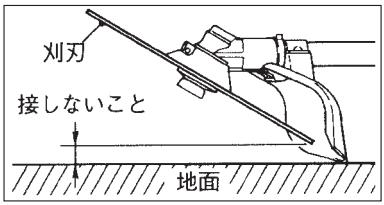


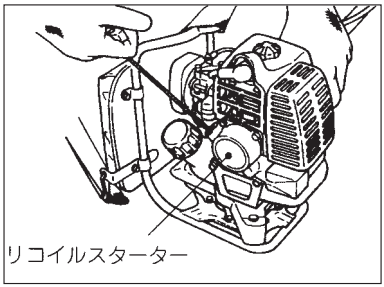
③スタートレバーを矢印の方向に倒してください。



④刈刃が安全ガードにより地面から離れているのを確認してください。

⑤この刈払機を足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。





⚠注 意

■ スタートレバーを倒して始動するとき、爆発音がしたら、必ずスタートレバーを元に戻してから再始動してください。スタートレバーを戻さないと燃料の吸い込みすぎになり、始動ができなくなります。(スタートレバーの解除はスロットルレバーを引いても解除できます。)

■ スロットルレバーを引いてスタートレバーを解除する場合・刈刃が回りますので、十分注意してください。

⑥爆発音がし、エンジンが始動したら、スタートレバーを元に戻してください。スタートレバーを戻す前に停止した場合は、スタートレバーを戻して再始動してください。(スタートレバーの解除はスロットルレバーを引いても解除できます。)

⑦始動したら２～３分アイドリング状態で暖機運転してください。アイドリングとはスロットルレバーが完全に戻っている状態のことです。

2．エンジンが暖まっているとき

④－⑤－⑦の順序で始動してください。

4－3　始動困難なとき

エンジンが暖まっている状態で始動しないときは、エンジンが冷えている場合と同じ方法で始動してみてください。それでも始動しない場合、またはエンジンが冷えた状態で始動しない場合は次の操作をおこなってください。

①スパークプラグをプラグレンチで外し、スパークプラグの電極部が漏れているかどうか調べてください。

②スパークプラグが漏れている場合はスパークプラグを乾燥してください。スパークプラグを抜き取った状態でリコイルスターターを引き、数回空転させて燃料をシリンダ内から追い出してください。

⚠注 意

■　火気を近づけないでください。火災の原因となります。

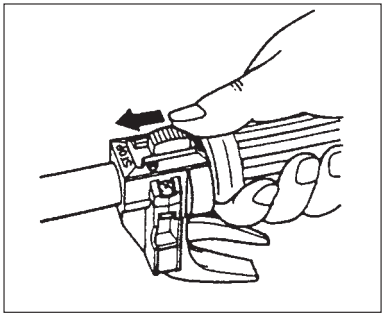
③スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップをつなぎます。エンジンが暖まっている場合の方法で始動してください。

④スパークプラグが漏れていない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。6－5項の点検をするか、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 ― 4　停止

〈RK231-SPA〉

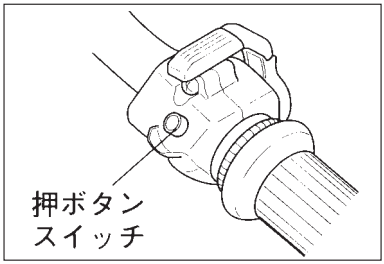
①エンジンをアイドリング状態にし、ストップスイッチを右図のように「STOP」・「0」側にスライドさせてください。



〈RK231-SPB〉

①スロットルレバーを元の位置に戻してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。

②押しボタンスイッチを押してください。



5．刈払い作業

この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を注意してよく読んでください。

⚠警 告

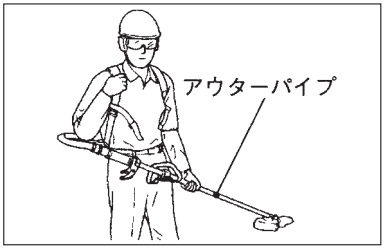
- ■ 作業時は必ず背負いバンドを使用してください。
- ■ 刈払機を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。

5－1　背負いバンドの掛け方

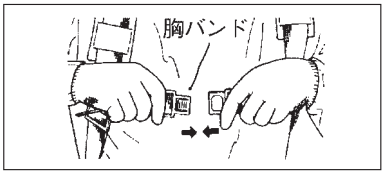
①右手でアウターパイプを持ち、左手で左側のバンドを持ち上げ肩に掛けてください。



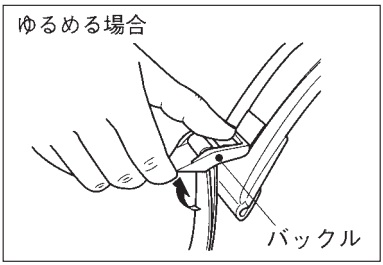
②アウターパイプを左手に持ちかえ、右側のバンドを肩に掛けてください。



③胸バンドをはめて下さい。



④背当てパッドが腰のやや上になるように、各バンドの長さを調整して身体になじませてください。



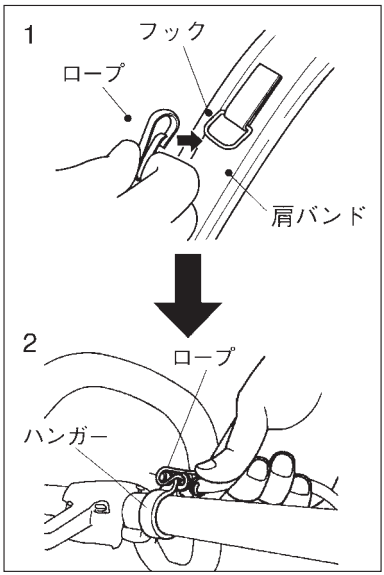
バックルを上方へ持ち上げかみ合いを外してください。バンドが伸びます。



短くする場合はバンドを真下に引いてください。

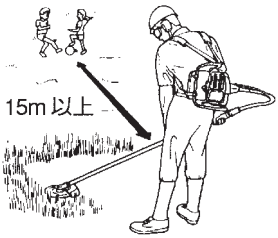
5－2　ストラップの使用方法

①作業状態に応じて背負いバンドのフックとアウターパイプのハンガーをロープでつなぐことにより、快適な操作をすることができます。ロープをハンガーに取り付けるときは、図のようにハンガーの穴にロープを確実に引っかけてください。ロープは作業の楽な長さに調整してください。



5－3　操作の方法

⚠警 告



- ■ 刈払機を操作するときは、フロントハンドルやリヤグリップを両手でしっかりと握ってください。その他の部分は持たないでください。また、片手での操作は絶対にしないでください。
- ■ 作業中は半径15m以内に他の人を近づけないように注意してください。切りくずや破片等が飛散し大ケガをする恐れがあります。
- ■ VR 8 枚刃は雑草の刈払いだけに使用してください。密着したヤブ等を切ると刈刃が破損し、飛散する恐れがあります。密集したヤブ等はのこ刃を使用してください。
- ■ 作業が終了して移動するときは、必ず刈刃に刈刃カバーをしてください。

⚠注 意

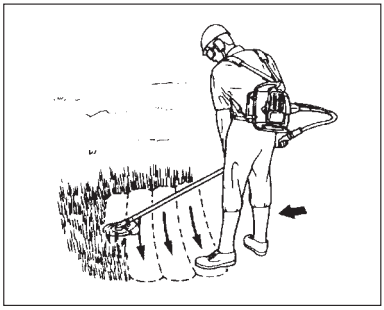
■ 雑草を切らない状態でスロットルレバーをいっぱいに引かないでください。エンジンは空ぶかし（無負荷高速）になり、エンジンやシャフトを破損させる原因となります。

■ クラッチがつながって刈刃が回転していても、低速にしすぎると共振現象による振動、異音を感じることがあります。この状態で作業を行うと、クラッチの摩耗が早くなります。また、草なども巻き付き易いので、回転を上げてクラッチの共振が無い回転速度で使用してください。

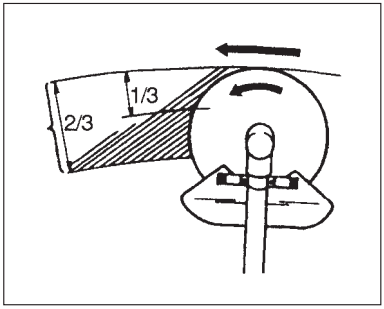
①エンジンを始動させ、スロットルレバーを握りエンジンの回転を上げていくと自動的に刈刃が回転を始めます。

②スロットルレバーを戻すとクラッチは切れ、エンジンはアイドリング状態になります。

③刈刃の回転方向は反時計方向まわりですから、右側から左側に寄せるように刈ると能率的です。刈り取った草は左側に寄せられるので広い面積を刈る時には左側から前進すると刈り取った草が次の列を刈る時にじゃまにならず、能率的に作業が進められます。



④刈刃の安全に切断できる位置は、先端から 1/3 ～ 2/3 あたりです。刈払いはこの範囲で行ってください。



6．点検・整備

⚠注 意

- ■ 点検・整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ■ ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。
- ■ リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだしてケガをするおそれがあります。

項　　目		始動前	毎　月	必要な場合
エアクリーナー	掃　除	○		
キャブレター	調　整			○
スパークプラグ	点検、掃除		○	
シリンダーフィン	掃　除		○	
燃料フィルター	掃　除		○	
ギヤケース	グリース補給		○	
フレキシブルシャフト	グリース補給		○	
刈刃	点検、目立	○		
スクリュー、ナット	点検、増締	○		
燃料キャップ、燃料タンク、燃料パイプ	漏れ点検	○		

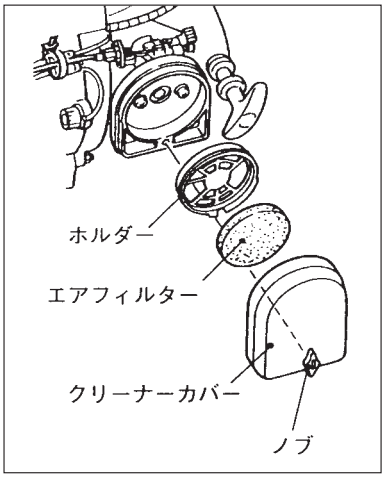
6－1　エアクリーナーの掃除

①クリーナーカバーのノブをゆるめて、クリーナーカバーをはずしてください。

②エアフィルター取り出してください。

③エアフィルターをガソリンでよく洗い、絞ってから取り付けてください。

④クリーナーカバーを取り付け、ノブを締め付けてください。



6－2　キャブレターの調整

キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化等により、調整が必要になったときのみ行ってください。

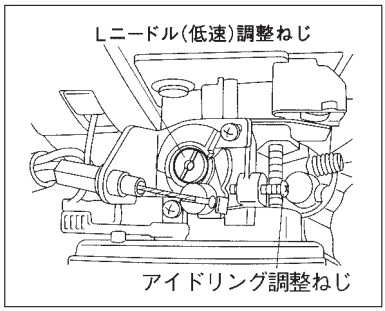
エンジンを始動し、2 ～ 3 分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

⚠危 険

■ 刈刃の周辺に人または干渉物がないことを確認して行ってください。アイドリングの調整時、低速と高速の回転調整時には刈刃が回転します。

⑴アイドリング回転速度の調整

アイドリング時には刈刃が回転しないようにアイドリング調整ねじでエンジン回転を下げます。またエンジンが安定して回転するように調整してください。アイドリングの回転速度は、3000 ± 250 min^{-1} {rpm} です。



アイドリング調整ねじを［右に回すと→回転が速くなる。／左に回すと→回転が遅くなる。］

⑵低速の調整

標準開度は、調整ねじを静かにいっぱいに締め込んだところからの戻し回数です。

Lニードルを［右に回すと→燃費が薄くなる。／左に回すと→燃費が濃くなる。］

標準開度	Lニードル	1±1/4回戻し
	Hニードル	―

⚠注 意

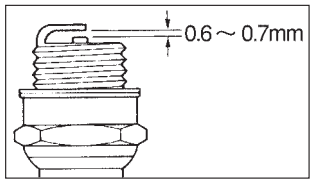
■ 不調の場合は、当社指定販売店に調整を依頼してください。

6－3 スパークプラグの点検

エンジンの始動性が悪くなったり、アイドリングが不安定になった場合はまずスパークプラグを点検してください。

①プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。

②ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落としてください。必要なら電極間すきまを調整をしてください。正しいすきまは0.6～0.7mm（はがき３枚の厚さ）です。調整がうまくできない場合は、販売店か弊社営業所に依頼してください。



③スパークプラグを締め付け、プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。

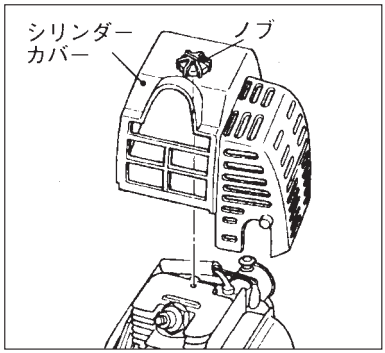
⚠注 意

■ 約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。スパークプラグはチャンピオン製CJ8Yをご使用ください。

6－4　シリンダーフィンの掃除

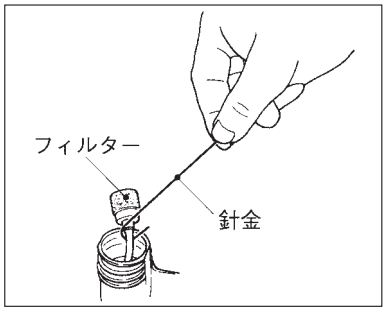
⚠警 告

■　シリンダーフィンの汚れや草のつまりはエンジンのオーバーヒート、焼き付きや火災の原因となりますので定期的に点検、掃除してください。



①シリンダーカバーのノブをゆるめシリンダーカバーをはずしてください。
②シリンダーフィンやシリンダーカバー等に付着している草やほこりを取り除いてください。
③清掃後はシリンダーカバーを組み付けノブを確実に締め付けてください。

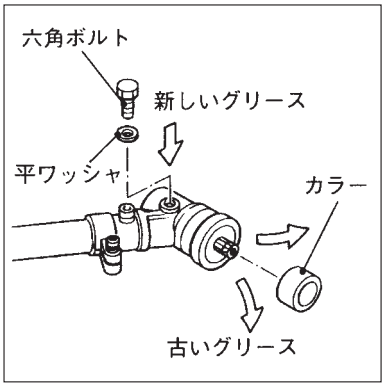
6－5　燃料フィルターの掃除



①燃料タンク内燃料をすべて抜いてください。
②燃料注入口から針金のフックでフィルターを引き出し、先端のフィルターを取り外しガソリンでよく洗ってください。
③組立前に燃料パイプを点検し、もし傷ついたり破損した場合は新品に交換してください。
④洗浄後、燃料パイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注入口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンクの底についていることを確認してください。

6－6　ギヤケースのグリース補給

①「3－9刈刃の取付け」の逆の順で刈刃をとりはずしてからスライドピン･ホルダAをはずし、ギヤシャフトのカラーを抜いてください。



②ギヤケース右側の六角ボルト、平ワッシャを付属のプラグレンチではずしてください。

③六角ボルトを外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。

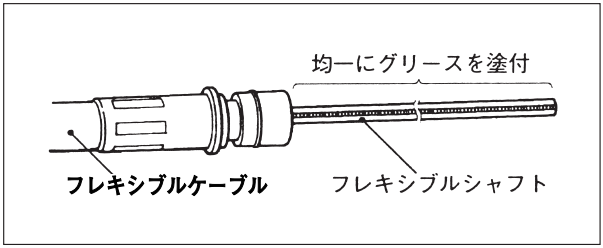
④古いグリースは新しいグリースに押されてカラーを抜いた部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。

⑤カラー、六角ボルト、平ワッシャーを取り付けてください。

6－7　フレキシブルシャフトのグリース補給

①「3－4フレキシブルケーブルとエンジンの取付け」の逆の手順でフレキシブルケーブルをエンジンから取り外します。

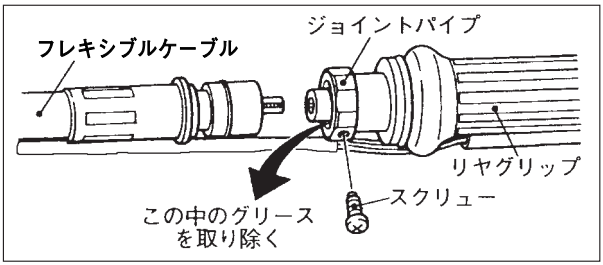
②フレキシブルケーブルからフレキシブルシャフトを取り出します。



③フレキシブルシャフトにグリースを塗付してください。

④リヤグリップからフレキシブルケーブルを取り外してください。

⑤リヤグリップ内のグリースを取り除いてください。余分のグリースは発熱や漏れの原因となります。



⑥まわりについた汚れを取り除いた後、元の通りに組み立ててください。

6－8　刈刃の目立て

⚠危 険

■ 刈刃にひび割れ、変形等の異常がある場合は絶対に再使用せずに新品と交換してください。

■ 刈刃の研磨は特殊な作業ですので、研磨の必要な場合はお買い上げの販売店に作業を依頼するか、講習を受けて行ってください。

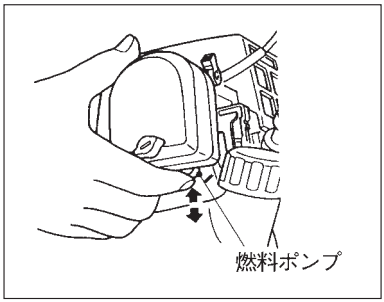
7．長期保管

次の手順に従って保管してください。

①各部を十分に掃除してください。

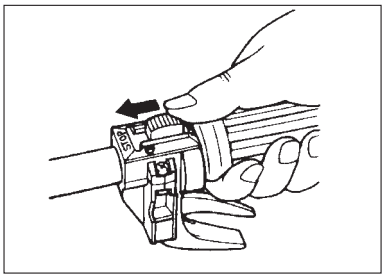
②点検･整備の項を参考にして点検･整備を行ってください。

③燃料タンクの燃料を排出し、燃料ポンプ(透明の半円形)を数回押し、キャブレタ内の燃料も排出してください。こぼれた燃料は完全にふきとって下さい。



④エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。

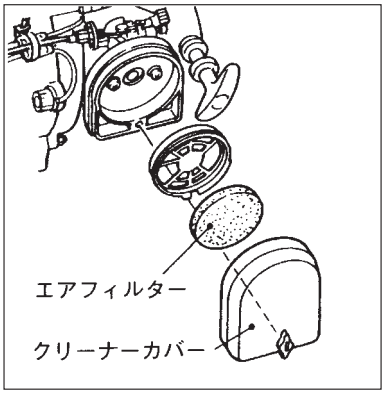
⑤エンジン停止後、必ずスイッチを「STOP」･「0」の位置にしてください。



⑥スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように２～３回リコイルスターターを引いてください。

⑦スパークプラグをもと通りに取り付けてください。

⑧クリーナーカバーを外して、エアフィルターを掃除して元どおりに取り付けてください。



⑨乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。

⚠注 意

■ 燃料タンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期保管をしないでください。燃料が変質します。

8．故障の診断と処理

8－1．エンジンが始動しない場合

区　　分	原　　因	処　　置	参照ページ
エンジンが回転しない	・リコイルスターター不良	販売店で修理	―
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	―
圧縮が弱い	・スパークプラグの緩み ・シリンダ、ピストン、ピストンリングの摩耗	締め付け、再始動 販売店で修理	30
燃料の不良	・燃料の変質	新しい混合ガソリンを入れて再始動	20
キャブレターに燃料が来ない	・燃料フィルターのつまり	燃料フィルターを掃除して再始動	31
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	―
スパークプラグが発火しない	・マグネトーの故障	販売店で修理	―
スパークプラグの点検	・スパークプラグが漏れている	スパークプラグを乾燥させ、リコイルスターターを数回引いてシリンダー内の燃料を排出し、再始動	23
	・スパークプラグにカーボンたい積	掃除し、再始動	30
	・スパークプラグすきま不良	0.6～0.7mmに調整	30
	・スパークプラグが損傷又は種類が違う	新しいスパークプラグCJ8Yに交換	30

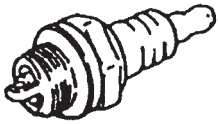
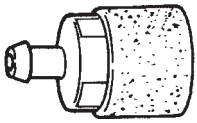
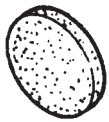
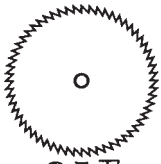
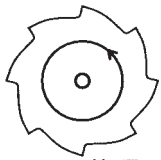
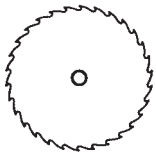
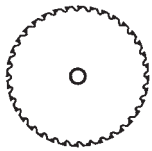
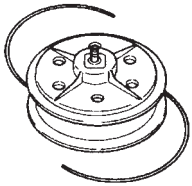
8－2．力がない場合

区　　分	原　　因	処　　置	参照ページ
エンジンの加熱	・長時間の過負荷使用	ゆっくり切断する	―
	・キャブレターの不良	販売店で修理	―
	・燃料混合比不良	正しい混合比の燃料を給油する	20
	・シリンダーフィンにゴミが付着	ゴミ掃除	31
	・シリンダー内、ピストンマフラー内カーボンたい積	販売店で修理	―
エンジンの回転むら	・エアフィルターの目づまり	エアフィルターの掃除	28
	・スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換	30
	・燃料フィルター、パイプのつまりまたはエア混入	掃除または交換	31
	・燃料に水の混入	燃料交換	20
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	―
	・キャブレター不良	販売店で修理	―
ノッキング	・エンジンの加熱	上記参照	―
	・燃料不良	燃料交換	20
	・燃焼室にカーボンがたい積	販売店で修理	―

8－3．その他の故障

区　　分	原　　因	処　　置	参照ページ
加速不良	・エアフィルター目づまり	掃除	28
	・キャブレター不良	販売店で修理	－
	・アイドリング回転速度が低い	3000min^{-1}{rpm}に調整	29
運転中にエンジン停止	・燃料の欠乏	燃料補給	20
	・燃料フィルター目づまり	掃除	31
	・燃料に水の混入	燃料交換	20
	・スパークプラグのカーボンたい積による短絡	掃除	30
	・プラグキャップの抜け	確実に取り付ける	30
	・マグネトー故障	販売店で修理	－
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	－
エンジン停止困難	・スイッチ故障	販売店で修理	－
	・アース線の断線	販売店で修理	－
	・エンジン加熱	アイドリングにして冷却	－
回転を下げても刈刃が止まらない	・クラッチ故障	販売店で修理	－
	・アイドリング回転速度が高い	3000min^{-1}{rpm}に調整	29
異常振動	・刈刃の破損	刈刃交換	－
	・ギヤケースの緩み	ボルトの締め付け	－
	・シャフトの曲がりブッシュの摩耗	販売店で修理	－
燃料の漏れ	・キャブレターのねじのゆるみ	販売店で修理	－
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	－
	・燃料タンクの破損	販売店で修理	－

9．主な消耗品

スパークプラグ	
フューエルフィルター	
エアフィルター	
刈　　刃	 のこ刃  VR８枚刃  笹刈刃  チップソー  トリマーヘッド
グリース	

10. 仕様

モデル			RK231－SPA	RK231－SPB
エンジン	機種名		SK231－SP	
	形式		空冷２サイクルエンジン	
	排気量	cc	22.5	
	点火方式		電子点火	
	スパークプラグ		チャンピオン、CJ8Y	
	キャブレター		ダイヤフラム式	
	エアクリーナー		半湿式	
	燃料タンク容量	ℓ	0.8	
	燃料		混合燃料（ガソリン：2サイクル専用オイル=25：1）	
	始動方式		リコイルスターター（Softスタート）	
	停止方式		アース式（スライドスイッチ）	アース式（押ボタンスイッチ）
刃先回転方向			上から見て反時計方向	
動力伝達方式			自動遠心クラッチ	
ハンドル			片手ハンドル	
スロットルレバー			トリガー式	固定式
適用刈刃	種別		のこ刃、VR8枚刃、笹刈刃、チップソー	トリマーヘッド
	外径	mm	φ230, φ255	－
	取付穴径	mm	φ25.4	（M7）
エンジン部外形寸法（長さ×幅×高さ）		mm	310×275×320	
操作部長さ		mm	2310	
本体乾燥質量 kg	エンジン部		4.3	
	操作部		2.5	

＊本体乾燥質量は背負いバンド、背負いパッド、燃料、刈刃、安全ガードを除く。
＊仕様は予告なく変更することがあります。

新ダイワ工業株式会社

本 社	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	☎ 082-849-2001
札幌営業所	〒065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	☎ 011-783-7551
仙台営業所	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	☎ 022-239-1688
郡山出張所	〒963-0107	福島県郡山市安積町2丁目341-1	☎ 024-945-8678
盛岡営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	☎ 019-641-3416
東京営業所	〒134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	☎ 03-3687-5771
千葉事務所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	☎ 043-214-0260
多摩出張所	〒192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	☎ 0426-20-5590
横浜事務所	〒222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	☎ 045-431-7786
厚木事務所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町5丁目47-18	☎ 046-228-2243
静岡出張所	〒422-8046	静岡市中島2834-1	☎ 054-282-7012
大宮営業所	〒330-0031	埼玉県さいたま市吉野町1丁目19-4	☎ 048-666-2521
宇都宮出張所	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	☎ 028-656-8737
土浦事務所	〒300-0815	茨城県土浦市中高津1丁目12-48	☎ 0298-24-5212
前橋出張所	〒371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	☎ 027-234-5956
長野出張所	〒381-0043	長野市吉田5丁目24-16	☎ 026-244-3970
松本事務所	〒399-0025	長野県松本市寿台9丁目4-16	☎ 0263-85-5446
新潟出張所	〒950-0892	新潟市寺山3丁目32-12	☎ 025-275-5616
名古屋営業所	〒454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	☎ 052-362-2281
浜松事務所	〒435-0053	静岡県浜松市上新屋町231-6	☎ 053-467-0394
津出張所	〒514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	☎ 059-227-2716
岐阜出張所	〒500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	☎ 058-271-4015
金沢出張所	〒920-0016	石川県金沢市諸江町中丁344	☎ 076-237-1230
大阪営業所	〒556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	☎ 06-6561-8484
和歌山事務所	〒640-8482	和歌山市六十谷1234-7	☎ 073-462-7277
京都出張所	〒601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	☎ 075-321-0141
姫路出張所	〒670-0061	兵庫県姫路市西今宿5丁目5-4	☎ 0792-98-1250
松山出張所	〒791-8016	愛媛県松山市久万ノ台223	☎ 089-922-8886
高松営業所	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	☎ 087-843-1201
徳島事務所	〒770-0942	徳島市昭和町6丁目76-105	☎ 088-622-8183
高知事務所	〒780-0815	高知市二葉町18-11	☎ 088-883-7255
広島営業所	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	☎ 082-849-2400
防府事務所	〒747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	☎ 0835-27-0575
米子事務所	〒683-0035	鳥取県米子市目久美町23-4	☎ 0859-34-7822
岡山出張所	〒700-0965	岡山市西長瀬261-104	☎ 086-241-3013
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	☎ 092-411-9801
小倉出張所	〒803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	☎ 093-561-3422
諫早出張所	〒854-0062	長崎県諫早市小船越町1021-3	☎ 0957-23-3341
大分出張所	〒870-0155	大分市高城南町7-13	☎ 097-552-1745
熊本出張所	〒862-0910	熊本市健軍本町7-17	☎ 096-365-0484
宮崎出張所	〒880-0022	宮崎市大橋3丁目134-2	☎ 0985-23-2126
鹿児島営業所	〒890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	☎ 099-257-6801

010823